

各地で19年度総会開催

今年米材需要量は減少予想

日本米材
協議会 新会長に江間壮一氏

日本米材協議会は12日、「2019年度定時総会」を東京江東区の東京原木会館で開催し、18年度事業報告および収支決算報告、19年度事業計画および収支予算を承認可決した。また、30年にわたって会長を務めた江間亮三氏から江間壮一氏

に写真11への会長の引き継ぎ、社内人事に伴う副会長の交替が承認可決された。

その後、出席者から米材産地や国内市場の事情などが報告され、最後に日本米材協議会・米材需要検討委員会

がまとめた、今年12月の米材丸太と製材の予想需給量が発表された。

需要量は丸太が244万3008立方尺(前年比5.5%減)、製材が190万409

6立方尺(7.7%減)と減少が予想された。

昨前半、米材製品はSPFディメンション材はカナダでメーカーが生産調整を行って

おり、価格は底値に近づいている。米ツガ製品は日本市場での需要が戻ってこない。米国の米マツ製品は、7

9月期から価格が下がり、日本市場で売りやすくなるはずだが、集

成材の価格が安く不安も残る。米国南部でザンイエローバインを材料とする工場が稼働し、製品の供給量を

増やしている。

【国内事情(製品問屋)】昨年、中国地方で大型米材製材工場が廃

業したが、製品不足などの問題は起きていない。大型工場はとも

人手不足に悩んでいる。阪神地区は丸太、製品とも需要が落ち込

んでいる。79月期の現地価格が下落し、秋以降に日本へ入荷して

くるとみられる。1012月は商売がしやすいと思う。

【産地事情(産材問屋)】供給国のカナダ、米国とも丸太価格は弱含み。

来年には環境保全の見地から船舶が使用す

るオイルの価格上昇が見込まれ、フレートの上昇につながる懸念

されている。米材輸入を取り巻く状況は、さらに厳しさを増して

くとみられる。

国産材台板の基材増える

MJAF 自給率50%に貢献する

日本複合・防音床材工業会(JAFMA、海堀哲也会長)の「2019年度通常総会」が11日、東京・浜松町の東京會館で開かれ、

全議案を原案と承認可決した。11年にわたって専務理事を務めた日比野義光氏が退任し参事となった。後任の専務理事には阿久津

進める。住宅を最新仕様にした場合の水道代を含めたトータルエネルギー費の削減効果を分かりやすく表示する

もので、さまざまな場面でのリフォーム推進策として提示する。

②では「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化事業」ほか、ベトナムとインドネシアでJISベースの国

家規格の発行までのフォローアップ事業などを行うっていく。

③では建材・住宅設備のデジタルカタログサイト「カタラボ」を中心

に情報の提供を行う。カタラボは昨年度、2009年の開設以来、初めてリニュー

ラ米ヒバや米スギ製品の売り込みが増えている。京浜地区では米材

製品の荷動きが滞っている。昨年の価格上昇で他材料へのシフトが

進んだ。79月期の現地価格が下落し、秋以降に日本へ入荷して

くるとみられる。1012月は商売がしやすいと思う。

【国内事情(製品問屋)】昨年、中国地方で大型米材製材工場が廃

業したが、製品不足などの問題は起きていない。大型工場はとも

人手不足に悩んでいる。阪神地区は丸太、製品とも需要が落ち込



海堀哲也氏

聡氏(前林野庁利根沼田森林管理署長)が、7月1日に就任する。19年度事業計画では

林野庁補助事業「CLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事

業」のうち「床暖房対応複合フローリングの

開発による国産材需要拡大事業」を主軸に、各種事業を実施してい

くとした。

海堀会長は冒頭のあいさつの中で「18年は住宅取得支援政策の拡

充、住宅ローンの低金利など、重要な課題以外

に、これら重要課題以外でも優良断熱材認証活

動やクリーンウッド法対応・VOC指針値改

定対応、調湿建材表示事業などにも取り組ん

でいく。

【一般社団法人全国LVL協会(中西宏二会長、写真)は12日、「2019年度通常総会」を東京・芝公園のホテ

ルメルパルク東京で開いた。議事では全議案を原案と承認可決

した。今年度も①JAS改正②材料保存③構造利用④防耐火⑤4つの委員会活動を中心

に、新商品の開発などに取り組む方針を確認した。また組織として「ウッドレガシー推進

協議会」を退会し、「森林を活かす都市の木造化推進協議会」に加入

することを決めた。

18年度末の会員数は11社。昨年度、インターレックスフォレスト

プロダクツジャパンリミテッドが退会し、西北プライウッド(株)が加入した。賛助会員数は5社増の30社。また10

「木造化推進協」に加入

LVL 新商品の開発に尽力

一般社団法人全国LVL協会(中西宏二会長、写真)は12日、「2019年度通常総会」を東京・芝公園のホテ

ルメルパルク東京で開いた。議事では全議案を原案と承認可決

した。今年度も①JAS改正②材料保存③構造利用④防耐火⑤4つの委員会活動を中心

に、新商品の開発などに取り組む方針を確認した。また組織として「ウッドレガシー推進

協議会」を退会し、「森林を活かす都市の木造化推進協議会」に加入

することを決めた。

18年度末の会員数は11社。昨年度、インターレックスフォレスト

プロダクツジャパンリミテッドが退会し、西北プライウッド(株)が加入した。賛助会員数は5社増の30社。また10

年比でやや減少。14年の、少子高齢化などを反映して新設住宅着工

戸数は前年をやや下回る約94万戸となった。こうした中で18年の複

合フローリングの生産量は天然木化粧フロアの3%から18年は24%に上昇している。18年

の防音直貼りフロアの生産量は、主な需要先である分譲マンション

の着工戸数が前年比3%減少したが、685

2×4工法の発展図る

ツバーバイフ 新会長に池田明氏



池田明氏

年にわたって事務局長を務めた井上国雄氏が、退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文

を退任し、後任に小原文を退任し、後任に小原文



道浦正治氏

IoT、ZEHなど推進

建設
協 道浦正治氏が新会長に

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会(建産協)の「定時総会」が13日、東京都港区の明治記念館で開かれ、全議案を原案と承認可決した。

役員改選では新会長に道浦正治氏(パナソニック(株)ライフソリューションズ社副社長)が選出された。また新たに大坪一彦氏(株)

IXIL社長)が副会長に就任。他の副会長5人、専務理事は留任となった。

総会後の懇親会で道浦新会長は「2018年度を振り返ると、新設住宅着工戸数は95万

3000戸、前年度比0.7%増とほぼ横ばい。また次世代住宅ポ

イント制度や住宅ローン減税の拡充など消費

税増税前後の需要平準化策も決まった。ただ

中長期的には、30年度に着工戸数が60万戸を割るとの予想もある。やはり、リフォーム市

場の活性化がますます重要となってくる」と述べた。

また「当会に深くかわるスマートライフ分野は、また実証事業段階の取り組みもあるが、スマートホーム市場は着実に活発化して

いる。その事例の一つが、情報やサービスなどあらゆるものが結び

つき、新たな価値を提供するIoT住宅。当会では一昨年から取り

組みを開始し、昨年度は標準化委員会に設置

するIoT住宅研究部会で、IoT住宅に設

置が想定される住宅設備機器の機能安全規格

の標準化に関する調査事業を進め、部会名も

IoT住宅部会に変更した。産業技術総合研究所と共同で3カ年計画の受託事業にも取り組んでいく」と、IoT住宅の普及、安心・安全のための事業に尽力するとした。

さらに「ZEHの普及促進も大きな事業。国も力を入れており、当会では今年度も中小工務店向けテキストを改訂して、ZEHの普及促進に貢献する」と述べた。

このほか同会では今年度、①リフォーム推進②標準化③情報サービス④の3事業をベ

ースに活動していく。①では「住宅の燃費」という考え方の普及を

進める。IoT住宅に設置が想定される住宅設備機器の機能安全規格の標準化に関する調査事業を進め、部会名も

IoT住宅部会に変更した。産業技術総合研究所と共同で3カ年計画の受託事業にも取り組んでいく」と、IoT住宅の普及、安心・安全のための事業に尽力するとした。

さらに「ZEHの普及促進も大きな事業。国も力を入れており、当会では今年度も中小工務店向けテキストを改訂して、ZEHの普及促進に貢献する」と述べた。

このほか同会では今年度、①リフォーム推進②標準化③情報サービス④の3事業をベ

危機感強め事業にまい進

ログハ 蓄熱性能検証などを継続

一般社団法人日本ログハウス協会(中川信治会長)の「2019年度通常総会(第11回)」が10日、東京都港区のホテルメルパルク

東京で開かれた。

中川会長は「昨年は協会普及推進委員会や技術委員会の活動を通じて大きな成果を挙げることができた。その

一つは民間提案型とな

る接合合わせ材JAS判定が今年1月31日付で官報告示となった。

引き続き接合合わせ材の認定製造工場の整備に取り組み。また国交省基準強度に関する大臣認定の取得関連デー

タの整備、足利大学に設置しているログハウスの温熱実験棟を活用し、蓄熱性能の検証など

年比でやや減少。14年の、少子高齢化などを反映して新設住宅着工戸数は前年をやや下回る約94万戸となった。こうした中で18年の複

合フローリングの生産量は天然木化粧フロアの3%から18年は24%に上昇している。18年

の防音直貼りフロアの生産量は、主な需要先である分譲マンション

の着工戸数が前年比3%減少したが、685

万6000平方メートルと前年を4%上回った。うち遮音性能が優れるL

L45製品が消費者に理解されて生産量のシェアが上昇し、87%とな

った」と、18年の生産動向を報告した。

同工業会では複合フローリングのうち、基

材が国産材フロア台板である割合を一層高め

て、国の政策目標である木材自給率50%以上の達成に貢献したいと

している。複合フローリングの生産量の8割を占める床暖房対応複

合フローリングに適した国産材フロア台板を開発するため、これ

まで適試験などを実施しており、今後も消費者に選ばれる品質・性能を有する商品の開発に力を入れる。

【一般社団法人日本ツバーバイフ建築協会

は13日、「2019年度定時社員総会」を開き、18年度事業報告と収支決算、19年度事業計画と収支予算を承認可決した。また新会長

に池田明氏(三井ホーム(株)社長)など下記の新社員を選任した。

19年度事業計画では①18年度改訂の「枠組み壁工法建築物・設計の手引」、②「枠組み壁工法耐火建築物設計・施工の手引」などの普及と生産の合理化などに資する技術基準などの整備③木造かつ耐震な

2×4工法の住宅や施設系建築物に関する幅広い情報発信と広報③2×4工法のさらなる普及展開に資する、「NL

クラホーム(株)、加藤博文(三菱地所ホーム(株)、細田正典(株)東急ホームズ)▽専務理事 川本俊明 敬称略

素材に売りづらさ

東海相互「初夏市」手当て消極的

製品は健闘、1.8億円売る

万円、計1億8100万円と前年を18%上回った。平均単価は素材が立万4千4百80円、製品が7万9300円、買い上げ者は246社だった。

素材市は、売り上げこそ前年並みを維持したが、全般的に厳しかった。東海地方ではA材からD材まで丸太に余剰感がある上、梅雨に入ってから材質が低下して

東海木材相互・大口市場(愛知県大口町河北、小森淳史市場長)は14日、「初夏市」を開いた。出品量は素材2077立方尺、製品6224立方尺、売り上げは素材6800万円、製品1億1300



製品市は「ナゴヤ社文特別企画」と銘打ち同社が中心となってヒノキ、スギほか外材、広葉樹などを幅広く出品した。需要は依然低

手当ての慎重姿勢続く

岐阜県銘木協同組合 銘青会特市 売上げ前年並み確保

岐阜県銘木協同組合(岐阜市茶屋新田、吉田芳治理事長)は13、14日、「第33回岐阜銘青会特市」を開いた。



年間三大市のひとつとして盛大に催され、出品数は製品3613口、原木734口と前月市を大幅に上回り、全国から延べ360人がセリに参加した。

ただ春以降の実需不足を反映して参加者に慎重な姿勢が目立ち、単価も伸びを欠いた。セリ売りで優良材に景品を出したり、ゆっくりと進行したりといった工夫を凝らしたこ

調で厳しい雰囲気だったが、粘り強い商談を展開した結果、前年を31%上回る売り上げを確保した。

新事務所は木造2階建てで、延べ床面積は本社棟、浜間屋棟を合わせて約500坪。構造材には愛知県産ヒノキの機械等級JAS認定材を使用。ボルトと樹脂で木材同士を堅固に結合する「拡張樹脂アンカー工法」と、トラス部の結合に木材同士をピンで縫い付ける「ウッドファスナー工法」を採用している。天井などにCLTも使用した。

苦戦模様も前年上回る

東海相互「初夏特市」、1.3億円

東海木材相互・西部市場(愛知県飛島村木場、鈴木善一朗市場長)は18日、「初夏特市」を、製品5910立方尺(外材除く)の出品

204社の実買い上げにより国産材が1360立方尺、外材が610立方尺買われ、売り上げは前年を6%上回る1億3300万円、平均単価は国産材

非住宅向け中心に積極買い

静岡ツキ板協同組合 優良展示会 落札率59%、確り値

静岡ツキ板協同組合(深城恵浩理事長)は13日午後1時から、「第60回静岡優良ツキ板展示大会」の即売を静岡市駿河区のツインメッセ静岡南館で行った。

今回は内外の優良ツキ板500点余りを集荷。天然木ツキ板を取り巻く需要環境は、主に非住宅向けで順調な発注が出ており、展示

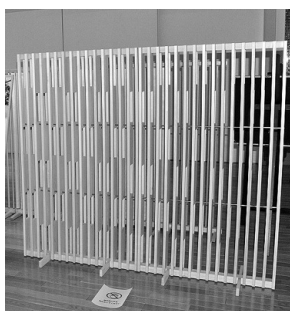
中部森林管理局と長野県は19日、「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ」のデザイン募集を開始した。締め切りは9月8日必着。一般的な流通寸法の製品を使用し、非住宅または住宅空間向けのパーティション、および事務所会議室や住宅玄関の内装を自由にデザインし、応募用紙と完成予想図(パース、設計図書)をそろえて応募する。

重要と考え、昨年度にはオフィスやアパート、マンションなどで利用できる「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションのデザインコンペ」を開催した。写真は昨年のグランプリ作品「Kagero u」。今年度は名称を「新空間デザインコンペ」として、パ

門の2部門を設定し、それぞれパーティション部門と内装デザイン部門を設ける。全作品の中からグランプリ(中部森林管理局賞)1点を選定し、副賞10万円を贈呈する。また社会人の部と学生の部に分け、それぞれ優秀賞などを選定する。10月に審査結果の公表、表彰式を行う予定。

指定材料は「(株)木曾のき」、「信州プレミアムカラマツ」とも幅12×厚さ18×長さ22の製材。材料サンプルが必要な場合は協賛者の木曾官材市売協同組合から実費で購入できる(☎0264・52・2480)。材料は切ったり削ったりしても構わないが、審査ポイントの一つ「低コストで製作が可能」に留意してほしいとしている。

問い合わせは同局☎026・236・2681へ。



製品の荷動きは鈍いが立万4千4百200円、外材が6万6000円、来場者は71社だった。

使用材料には長野県のブランド材である高齢級人工林「(株)木曾のき」、「信州プレミアムカラマツ」の製材品を指定。①温もりのある非住宅空間部門②上質な住宅空間

で購買力が落ちており、今回市でも買方の姿勢は当用買い一色。構造材の売りづらさは相変わらずで、造作や板類中心の手当てとなった。

西垣 君枝さん(にしがき きみえ)氏(山形県、愛知県木材組合連合会会長の西垣洋一氏の母)17日、死去。92歳。

葬儀・告別式は20日正午から、名古屋市中心部のいちやなぎ中央斎場「春夏秋冬の間」で執り行われ、業界関係者ら多数が焼香に訪れ、盛儀だった。

喪主は長男の洋一(ひろかず)氏。

藤井ハウス産業は環境に配慮した製品をお届けするために FSC/CoC PEFC/CoC認証を取得しました



SHINHORI PRECUT

〇木材・建材・システムキッチン 〇在来木造羽柄材プレカット
〇在来木造構造材プレカット 〇金物工法プレカット 〇住宅性能表示サポート業務 (AFSC)

性能表示サポートセンター AFSC アフサック愛知

ISO9001 認証取得
FERTY JOHNSON ROOSTER, INC. JAB

株式会社 シンホリ
プレカット事業部 ☎475-0021 愛知県半田市市崎町2-226
半田工場 Tel0569-29-6290 Fax0569-29-6280

昨年
納入
乾燥機容量は9%増

木材乾燥
施設協会 蒸気式シエア89・6%

日本木材乾燥施設協会は、このほど、「2018年の製材工場概要と人工乾燥材の出荷状況」をまとめて公表した。18年の木材乾燥機の納入実績は232室（前年比4・9%減）、容量1万3051立方

最近5年の乾燥機納入実績						
用途	針葉樹製材	広葉樹製材	集成材	住宅関連	その他	合計
2014年	室数(室) 容量(立方m)	298 15,320	11 802	38 2,563	26 1,056	4 19,787
2015年	室数(室) 容量(立方m)	211 9,250	6 242	20 2,050	16 365	9 12,587
2016年	室数(室) 容量(立方m)	178 6,734	20 399	40 5,670	25 227	8 13,192
2017年	室数(室) 容量(立方m)	172 5,081	5 98	47 6,113	3 160	17 12,017
2018年	室数(室) 容量(立方m)	154 5,881	1 5	43 6,010	8 380	26 775

日本木材乾燥施設協会(正会員12社)まとめ

容量が前年比で増加したが、4年前の298室1万5320立方メートルに減少基調。逆に集成材用は前年比で減少したものの、近年は増加基調にある。18年に納入された機械をタイプ別にみると「蒸気式」が187室1万1688立方メートル、容量のシェアは89・6%だった。「温水式」は11室195立方メートル、電気式が8室110立方メートルで、ともに室数、容量は減少した。

なお林野庁が5月に公表した「木材統計」によると、18年末の製材工場数は全国458の対策強化策を実施した（今年3月末時点）。

林野庁まとめ

違法伐採の相談件数昨年は全国で78件

森林法に規定する

「伐採および伐採後の造林の届出」の対象となる伐採が森林所有者に無断で行われ、市町村や都道府県に相談が寄せられた事例は昨年、全国で78件あった。うち警察への相談件数は34件。

所有者に無断で伐採業者や伐採仲介業者が故意に伐採した疑いがあるもの」が6件（うち警察への相談5件）、「境界の不明確または当事者の認識違いにより森林所有者に無断で伐採されたもの」が51件（18件）、その他21件（11件）。

林野庁ではこうした無断伐採が発生していることを受け、これまでの対策に加えて①伐採届出制度における対応強化②森林経営管理制度などを活用した優良業者の育成・悪質業者の排除③合法伐採木材の流通の徹底―など

業界 短信

東京おもちゃ美術館を運営する認定NPO法人芸術と遊び創造協会（東京都新宿区）はこのほど、「グッド・Toy2019」の授賞式を同美術館で開き、



受賞した玩具45点と、その中から選ばれた「林野庁長官賞」、「グッド・Toy大賞」を発表した。当日は受賞者ら約180人が集まり、受賞を祝った。

同賞は親や祖父母が玩具を選ぶ際の目安をつくらうと同協会が実施している制度で、今年で34年目となる。受賞品のうち国産の木材を最も有効に活用しているおもちゃに贈られる「林野庁長官賞」には「おうちごっこ」（寺内定夫の木のおも

2工場で前年比4・8%減。製材用動力の出力規模別でみると、300キロワット以上の大規模工場は増加したが、それ以外の階層で減少した。18年の製材工場の原木消費量は1664万5000立方メートルで、1・3%減。工場当たりの素材消費量は3633立方メートルで、3・7%増加した。

出力300キロワット以上の階層の工場数は全体の9・3%（427工場）と1割に満たないが、これら大型工場で全原木使用量の73%を消費している。18年の製材品の総出荷量は920万2000立方メートル（前年比2・7%減）。うち人工乾燥材の出荷量は393万立方メートルとほぼ前年並みだったが、製材品の出荷量が減少したこと

＝ 合板市況通信 ＝

東京都ベニヤ板問屋協同組合

東京の合板卸売実勢価格(19日)

	品 目	価 格	備 考
ラワンJAS	2.3 ³ T2	620円	一般建築用
	4.0 ³ T2	740円	〃
	5.5 ³ T2	900円	〃
F☆☆☆☆	9.0 ³ T2	1,500円	〃
	12.0 ³ T2	1,820円	〃
針葉樹構造用(ネタノ)	F☆☆☆☆12 ³ C-D	1,130円	仲値 (直送)
	F☆☆☆☆24 ³ (実付)	2,550円	仲値 (直送)
	F☆☆☆☆28 ³ (実付)	2,850円	仲値 (直送)
	F☆☆☆☆9 ³ 3×10	1,970円	仲値 (直送)
輸入・型枠用	12 ³ JAS製品	1,410円	仲値 (直送)
輸入・構造用	F☆☆☆☆12 ³ JAS製品	1,430円	仲値 (直送)

(注)1車単位(4トン)問屋売り価格・90日手形(JAS製品)

概況：国産針葉樹合板は、5月の値上げアナウンス以降、木建ルートで反応が鈍く、盛り上がりやを欠く状況が続く。ただ、メーカー在庫は低水準で、アイテムによっては1週間以上の納期が必要。安値の話はなくなっているが、基本的に価格の変化はみられない。

輸入合板は相変わらず荷動きは悪く、一部商社が市況外れともいえる価格を提示しており、徐々に波及している。流通の仕入れもシビアになり、当用買いが加速。当面はこの傾向が続きそうだ。

第225回 国有林土場活用委託販売市売ご案内

※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。
●入 札 日 令和元年 7 月 2 日(火) ●入札締切 午前10時30分
●入札会場 木曽官材市売協同組合 2 階大会議室

材種	署 名	樹 種	見込数量m ³	主要銘柄等
素 材	木曽森林管理署 （南木曽支署） を含む	木曽ヒノキ	156	特木101m ³ ・尺上B材20m ³ ・長尺材5m ³ ・ 特A30m ³
		ヒノキ (内 ^国 木曽 ひのき)	641 (622)	並柱57m ³ ・3m曲334m ³ ・3m24上35m ³ ・ 4m直9m ³ ・4m曲206m ³
		天然サワラ	39	特木28m ³ ・B材9m ³ ・尺上2m ³
		その他N・L	936	特木ヒノキ594m ³ ・N特木317m ³ ・ 人サワラ23m ³ ・コメツガ2m ³
総 計		109粒	1,772	

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせ下さい。
※素材の物件所在地は、木曽森林管理署・南木曽支署の土場又は、山元です。

木曽官材市売協同組合

〒399-5604 長野県木曽郡上松町正島町 2-45
TEL (0264) 52-2480(代)
FAX (0264) 52-1155(フリーボーリング)
ホームページ http://www.kisokan.com/



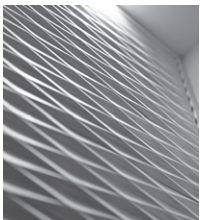
津田産業は東日本大震災の復興住宅の建設に協力するとともに、後、「ひこばえの森」に入り、全員で広葉樹の苗木を植えた。

同植樹祭は「森は海の生物を豊かに育てている」として、宮城県気仙沼市の牡蠣養殖漁師らが川上の森への感謝と森と川と海がつながる自然の生態系保全活動を目的に、1989年に開始され、その運動の輪は全国へ広がり、海外からの参加者もみられる。

津田産業は東日本大震災の復興住宅の建設に協力するとともに、後、「ひこばえの森」に入り、全員で広葉樹の苗木を植えた。

同植樹祭は「森は海の生物を豊かに育てている」として、宮城県気仙沼市の牡蠣養殖漁師らが川上の森への感謝と森と川と海がつながる自然の生態系保全活動を目的に、1989年に開始され、その運動の輪は全国へ広がり、海外からの参加者もみられる。

津田産業は東日本大震災の復興住宅の建設に協力するとともに、後、「ひこばえの森」に入り、全員で広葉樹の苗木を植えた。



DESIGN WALL

【デザインウォール】

壁面を演出する新しい9つのデザイン、「デザインウォール」。無垢の木ならではのぬくもりを生かした壁材です。

WOODONE

株式会社 ウッドワン

〒738-8502
広島県廿日市市木津港南1-1
TEL 0829-32-3333(代)
https://www.woodone.co.jp

ウッドワン

検索

